

日医ニュース

2019. 4. 5 No. 1382

日本医師会
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail www.jma.or.jp
http://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



トピックス

- 「[知って、肝炎プロジェクト] 杉特別参加が表敬訪問」…………… 3面
- 「都道府県医師会だより」…………… 4～5面
- 「平成30年度臨床検査精度管理調査報告会」…………… 6面

平成30年度日本医師会医療情報システム協議会

「明日の医療を彩るICT」をメインテーマに開催

平成30年度日本医師会医療情報システム協議会が「明日の医療を彩るICT」をメインテーマとして、3月2、3の両日、都内で開催された。

2日間にわたってオンライン診療やAI等、直近の話題をテーマとしたシンポジウムやセッションが行われ、864名の参加があった。

第1日

石川広己常任理事の開會宣言に続いて、横倉義武会長があいさつに立ち、平成28年6月に策定した「日医ICT宣言2016」に基づき、地域医療連携、多職種連携を始めとする医療等分野の情報化やICT化を、これまで以上に主導的かつ適切に推進するため、国のデータヘルズ改革などの動きに積極的に関与してきたことなどを説明。

I. オンライン診療の現状と将来展望

今回の協議会については、オンライン診療、AI、サイボーグ型ロボット「HAL」などに関する多彩なプログラムを用いた。九つの論点について議論



横倉会長



諸岡茨城県医会長

佐藤雅明慶應大学大学院政策・メディアア研究所特任准教授は、the home、というコンセプトの下に、高精度映像技術



政局医事課長は、現在、平成30年3月に作成した「オンライン診療の適切な実施に関する指針」について、診療相談とオンライン受診勧奨の違いの明確化やセキュリティの問題など、四つのポイントを中心に、その見直しに向けた検討が進められていることを報告。今後も、患者が安心してオンライン診療を受けられるよう、定期的な見直し作業を行っていくとした。

岡信裕運営委員会委員長(茨城県医師会長)は「医療における諸問題の解決のためにICTは必要なアイテムとなっている」とした上で、同協議会が明日の医療に役立つことに期待感を示した。

内田直樹たろうクリニック院長は、福岡市から取りつけ医療強化事業におけるオンライン診療について実例を示しながら「患者の生活の様子を見ることができ、移動の時間がかからない」などのメリットがあるとする一方、「対面診療の完全な代替にならないことが本事業から明らかになった」と述べた。

「II. シンポジウム『医療分野のAIとIoT』」では、坂村健東洋大学情報連携学部長が、AIが劇的な進歩を遂げ、その技術が次々とオープン化される中で、その動きに対応できていない日本の現状を危惧。電子カルテなどを例に挙げ、医療分野も例外ではなく、AI化を進めるべきとする。同時に、「AIやIoTを後方支援として応用する

II. シンポジウム「医療分野のAIとIoT」

「II. シンポジウム『医療分野のAIとIoT』」では、坂村健東洋大学情報連携学部長が、AIが劇的な進歩を遂げ、その技術が次々とオープン化される中で、その動きに対応できていない日本の現状を危惧。電子カルテなどを例に挙げ、医療分野も例外ではなく、AI化を進めるべきとする。同時に、「AIやIoTを後方支援として応用する

湯地晃一郎東京大学特任准教授は実例を挙げながら、診療のプロセスにおいて人工知能がいかに役立っているかを詳説。「人間の支援なしに、AIが診断できるわけではない」と指摘するとともに、AI診療も医師の責任の下に行われるべきものであるとした。

第2日

III. 日医ICT戦略セッション

2日目には「III. 日医ICT戦略セッション」が行われた。石川常任理事は、「日医における医療・介護分野のICT化の取り組み」と題し、ICT環境の激変によるビッグデータの時代にはEUのGDPR (General Data Protection Regulation) : 一般データ保護規制」と同様な個人情報を守る法律などが求められると説明。現在のICTの課題としては、①HPKIの次の発展②医療等IDの実現③医療・介護の専用ネットワーク構築④医療・介護情報ビッグデータ

また、被保険者番号の個人単位化とオンライン資格確認に関して、「マイナンバーで保険証の代用ができる」と誤報されたことに対し、2月20日に記者会見を行い(本紙第1381号既報)、正確な報道を行うよう強く要望したことを紹介。更に、昨年施行の次世代医療基盤法に規定された「認定匿名加工医療情報作成事業者制度」へ対応するため、日医は新たな財団法人を設立し、認定事業者となる方向で準備していることを紹介した。

吉川健啓東京大学特任准教授はCAD(コンピュータ)支援検出/診断)が普及しない理由として、「ソフトウェアの値段が高い」「導入する経済的インセンティブがない」などを挙げるとともに、その問題解決のために開発したプラットフォーム「CIIRCUS」の概要等を紹介した。多田智裕ただともひろ胃腸科肛門科院長は、自身が開発した消化器内視鏡AIシステムの事例を紹介。「AIは医師の道具であり、決して医師の仕事を奪うものではない」と強調する。今後はこの技術を使いこなせるかが大きな差になると述べた。



長島常任理事



石川常任理事

「(1面より) 医師資格証(HPKIカード)について、その必要性とメリットを説明。出欠管理システムや地域医療連携ネットワーク等で利用されている地域は普及率が高いとして、今後、申請の手続きの簡略化等により取得しやすくするなど、100%の普及を目指していきたいとの考えを示した。

増田威日医情報システム課長は、日医が今年度サイバーセキュリティ重要インフラの一つ「医療セプター」の事務局を担うことになったことを報告。「今後は、医療セプター構成団体との連絡を密にしつつ、各医療機関向けに情報発信を行い、他の重要インフラとの連携等と共に、運営



南川一夫、伊藤伸昭、三原一郎、松本義人、島貫隆夫、比嘉靖、山本隆一、大山永昭

午後からは、「IV. 全国保健医療情報ネットワークについて」が行われた。南川一夫厚労省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室長は、「全国保健医療情報ネットワークの構築に向けた取り組み状況」について、2020年度からの本格稼働を目指し、必要な実証事業等が行われていることを説明。今後、検証と有識者による検討を踏まえ、プロトタイプの開発等と共に、運営

携の可能性も模索していきたい」と述べた。主体やコスト負担の在り方、各種ガイドラインの策定などを進めていく必要があるとした。伊藤伸昭日医ORCA管理機構事業推進部長は、同機構が本年度、厚労省より受託した「保健医療記録共有サービスの基盤整備に関する調査事業」に関して、その概要と今年度の進捗・課題、次年度に向けた方向性等について詳説した。

またこれを利用し、居宅や施設で療養中の患者が病院へ入院、あるいは病院から地域へ退院するポイントを起点に、患者に関わる多職種、多施設が標準化した書式を「eHHR」で共有し、その効果を検証するという調査研究事業の成果を課題も含めて報告した。松本義人高松市医師会理事は、「レセプトデータを活用した保険者・医療機関連携モデル」として、①同市保有の国保レセプト情報を患者自身の同意の下、医師に開示する仕組み②患者同意や医師確認のための手法として、マイナンバーカ



久米川香川県医会長

閉会式では、次期担当会長が、次の協議会に向けた抱負を述べた後、運営委員会委員の塚田篤郎茨城県医師会常任理事が、2日間の協議会を総括し、閉会となった。当日はその他、別会場において、①サイボーグ型ロボット「HAL」②医師資格証の利用についての報告等が行われた。なお、本協議会では、「医師資格証(HPKIカード)」を使った出欠管理を行い、横倉会長を始め200名の利用があった。

その後、有識者の立場から、山本隆一MEDICARD理事長/自治医科大学客員教授は、「全国保健医療情報ネットワーク」のMaster Patient Index (MPI) と題して、大山永昭東京工業大学科学技術創成研究院社会情報流通基盤研究センター教授は、「全国保健医療情報ネットワークの実運用に向けて、情報の管理責任とセキュリティ」と題して、それぞれ講演した。山本氏は、「全国保健医療情報ネットワークの整備に合わせ、被保険者番号と当該被保険者番号で識別される個人の医療情報の所在情報を紐づけて管理する広域MPIの整備が検討されているが、連携が広域に及ぶ場合、ドメインが複雑に入り組んでいる都市型の地域医療連携ネットワークの場合に確実な識別を表現するためには、全患者・国民を一意に識別可能なMPIの整備が必須技術はこの管理責任を果

要である」と指摘。その上でMPIの要件を明確に示すとともに、実装の在り方について解説した。大山氏は、機微情報である保健医療情報を安全に共有するに当たり、データベースやネットワーク、更には管理サーバ等における医療等情報の管理責任の所在について、具体的な情報の流れを例示しつつ解説。セキュリティ技術はこの管理責任を果

採用時に使える医師の身分証

—「医師の証明ができます」—

医師採用時、医師資格証(HPKIカード)を、医師免許証の代わりとすることができます。詳しくは、日医電子認証センターホームページの2017年12月22日付News欄をご覧ください。

詳しくはホームページをご覧ください。 [日本医師会](#) [電子認証センター](#) [検索](#)

大原薬品工業株式会社

すべては患者さんの立場から
医療の未来のために信頼の医薬品を

常に「患者さんと医療現場の願いに応える医薬品メーカー」でありたい。
大原薬品は、オーファンドラッグや、
高品質で安価なジェネリック医薬品の製造販売企業として、
さらなる社会貢献を目指して努力を続けてまいります。

慢性骨髄性白血病(CML)においても
ジェネリック医薬品で
医療費が
軽減される時代です。

白血病とジェネリック
<https://cml.ohara-ch.co.jp>
白血病とジェネリック [検索](#)

肝炎ウイルス検査の受検率向上にご協力下さい

肝炎ウイルス検査を受けよう!

国内最大級の感染症ともいわれるウイルス性肝炎。肝炎ウイルスに感染している人は300万~370万人で、日本人の約40人に1人と推計されています。肝炎ウイルスは、血液検査でわかります。まずは一検、検査を受けましょう。

Q1 どうして肝炎ウイルスを調べるの?

A1 肝炎は肝臓の炎症を指す総称です。一部の原因が肝炎ウイルスの感染であり、ウイルスに感染しているかどうかを調べることで、最も重要なことになります。

Q2 肝炎ウイルスに感染すると、どうなりますか?

A2 肝炎は「肝臓の腫れ」といわれ、自覚症状がないままに病状が進行してしまいます。特にC型肝炎ウイルスは、感染が持続すると慢性肝炎となり、肝臓が硬くなった場合、必要な栄養素や適切な治療を受けないまま、重症化する恐れがあります。重症化する前に、適切な検査を受け、早期治療が重要です。

Q3 検査はどのような方法ですか?

A3 肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、血液検査でわかります。採血が可能な検査方法です。採血後の痛みもありません。検査を受ける際の準備も、事前に医師から説明が受けられます。

肝炎ウイルスの検査は、医師の指導を受けられます。まずは、かかりつけ医に相談してみましょう。

肝炎ウイルス検査の受検率向上にご協力ください。

発行：公益社団法人 日本医師会

横倉義武会長が、「知って、肝炎プロジェクト」杉良太郎特別参与と会談し、同プロジェクトへの協力を求められたこと（詳細は右記事参照）を踏まえ、日医ではこのほど肝炎ウイルス検査を受けることを呼び掛けるポスターを制作しました（『日医ニュース』4月5日号附録「健康ぶらさ」裏面）。日医のホームページ（<http://www.med.or.jp/people/opinion/000002.html>）にもデータを掲載しておりますので、待合室に掲示頂くなど、その周知にご協力下さい。 日医広報課



「知って、肝炎プロジェクト」杉良太郎特別参与が日医を表敬訪問

厚生労働省肝炎総合対策推進国民運動「知って、肝炎プロジェクト」の特別参与で俳優の杉良太郎氏が3月4日、日医会館を訪れ、横倉義武会長と会談を行った。

「知って、肝炎プロジェクト」は、厚生労働省が平成23年5月に肝炎対策基本指針を策定したことを受けて、肝炎対策の普及・啓発を推進するために行われている事業であり、芸能界・スポーツ界から大使・スペシャルサポーターが任命されているが、杉氏は特別参与を務めている。

冒頭のあいさつの中で、杉特別参与は、本プロジェクトによる肝炎対策の活動も今年の7月で8年目を迎えること、現在は佐賀・富山両県において集中的に活動を行うことで、肝炎ウイルス検査の受検率、治療状況などのデータを集めていること等を説明。横倉会長に対しては、「ぜひ医師の皆さんから患者さんに肝炎ウイルス検査を勧めて頂くよう働き掛けて欲しい」と述べ、本プロジェクトに対する協力を求めた。

杉氏は、長年にわたる肝炎対策の普及・啓発活動への敬意を表した上で、「ウイルス性肝炎は、わが国の長い歴史の中でも大きな感染症の一つであり、日医としてもその撲滅を願っている」との考えを示すとともに、「芸能界・スポーツ界の方々が肝炎の知識について発信されることは社会への影響力も大きく、医療に携わる者として大変頼もしく感じている」と期待を寄せた。

その後の懇談では、杉特別参与が、過去には肝炎に対する偏見や差別の問題があり、芸能界の中でも治療を受けない人や副作用に耐えられず治療を断念した人がいたことを紹介。「自分だけは大丈夫だと、ひとごととは思わずに、まずは肝炎ウイルス検査を受けて、もし陽性だと分かたら治療を受けて欲しい」とその重要性を訴えるとともに、「自治体から住民へ送付される肝炎ウイルス検査の受診券（クーポン券）を使って受検できることや、がん検診など他の検査と併せて受検することを医師から働き掛けて頂くことで、より効果



り組んでいくことを明らかにした。

それを受け、横倉会長は、「肝炎を患っていることを伏せていた時代があったが、医学・医療の進歩によって、さまざまな病気の捉え方が変わってきた。また、治療に関しては、以前は副作用が強いインターフェロンによるものであったが、今では副作用の少ない新しい治療薬が開発されており、医療費助成などもある」と述べるとともに、「ウイルス性肝炎は肝硬変になり、その後、肝臓がんになる確率が高い」と述べた。

懇談後には、「知って、肝炎プロジェクト」の肝炎アクション「日医君のキャラクター「日医君」のぬいぐるみの贈呈がそれぞれ行われ、終始和やかな雰囲気であった。

また、杉特別参与が、妻である伍代夏子氏がC型肝炎治療を受けた体験談を紹介する中で、完治後に新しい治療薬が開発されたことに触れ、「当時は高価な薬だったが、今では保険適用され、誰でもわずかな負担で治療を受けられるようになっている。日本には素晴らしい制度があってありがたい」と述べるなど、国民皆保険制度についても話題が及んだ。



日医事務局長に 新村和哉氏が就任

日医は、滝澤秀次郎事務局長の退任に伴い、新村和哉（しんむらかずや）氏が新任事務局長に就任することを3月19日に開催した平成30年度第13回理事会で決定し、4月1日付で発令した。新村局長は7代目の日医事務局長となる。

新村局長は、昭和35年生まれ、東京都の出身。昭和59年東京大学医学部を卒業後、厚生省（当時）に入省。その後は厚生労働省社会・援護局障害保険課長、医薬品局血液対策課長、医薬品局血液対策課長、医政局指導課長、医薬品局食品安全部長、健康局長などの要職を歴任。その後、国立保健医療科学院院長を平成30年10月まで務めていた。

都道府県医師会だより

「医業承継バンク」を設置

—福島県医師会—



承継バンクを設置。その事業内容は、県内の開業医の医業承継の意向調査及び医業承継事業周知のためのセミナーの開催の他、福島県で開業を希望する県内外の医師への医業承継バンクのPR、承継を希望する医師に対する相談や支援、更には希望する医師やその家族を承継視察ツアーに招くことも考えている。

福島県内の診療所数は、2016年時点で1370施設で、2008年と比較すると106施設減少している。医院の閉鎖も新規開業よりも多いペースで進んでいる。県内の診療所開設者は約6割が60歳以上で、全国平均の約5割を上回っている。医師の高齢化が更に進み、後継者がいなければ診療所の減少に拍車がかかり、地域によっては医療体制に空白が生じる事態が容易に想像される。

福島県医師会としても、本県の医師不足が喫緊の課題となっている中で、県民の健康な暮らしを守るために、地域医療を支えている診療所を承継していく人材の確保を急がなければならないと考えてきたところである。こうした状況下で、福島県は今年度、後継者のいない県内の民間診療所と、診療所を引き継ぐ形での開業を希望する県内外の医師を結び付ける「医業承継支援事業」を予算化し、その実施主体として福島県医師会がこれを受託することになった。

後継者として近親者を期待できない場合、第三者に診療所を譲ることを考える医師は多いと思われるが、医師やその家族だけで後継者を探すこと

本年2月4日に福島県医師会事務局内に「医業承継バンク」に後継者のいない県内の開業医、そして開業を希望する県内外の医師に登録してもらった。そのために、県内

外の開業を希望する医師に、本システムをいかにPRしていくかが重要であり、難しい問題ではある。希望者数が増えればマッチング(恐らくはAIで)を行うことになるが、開業地となるかもしれない自治体の地域医療への考え方、支援制

度等がその結果に影響することが容易に想像される。どうしても後継者を探ることができるのか、そしてどうしたらスムーズに事業を引き渡すことができるのか、あるいは引き受けることができるのか。そういった問題を解決

決してくれる仲介事業者は多くあるが、中には法外な成功報酬を求める業者や、また、承継成立後に問題が発生した時の対応にはっきりとした規定のない業者もある。福島県医師会の「医業承継バンク」は利益相反のない事業所であり、安心して医業承継を任せて頂けると考えている。今後は、承継後の円滑な運営に向けて、可能な限りサポートしていきたい。地域医療の安定・充実化を目指して運営していきたいと考えているので、全国の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

外国人看護師候補者資格取得支援事業に関するインドネシア共和国保健省との協力覚書を締結

—福岡県医師会—

福岡県医師会では、平成28年度から県内の看護職員確保を目的に、EPA外国人看護士(以下、「EPA」)を対象に、(現地)インドネシア及びフィリピン)に教員を派遣し、試験対策の学習支援(再チャレンジプログラム)を行う「外国人看護師候補者資格取得支援事業」を福岡県行政の協力の下、実施している。平成28・29年度の2年間の試験結果は、両

国合わせて看護師国家試験に9名、准看護師試験に10名が合格しており、現在は福岡県内の医療機関で就業し、地域医療を支えている。こうした実績により、インドネシア共和国保健省から同事業への協力の申し出があり、2月18日、福岡県知事立会いの下、協力覚書を締結した。福岡県医師会が海外の行政機関と覚書を締結するのは初めてである。この覚書では、インドネシア共和国保健省はEPA帰国者に対して事業の周知を図ること、可能

心して医業承継を任せて頂けると考えている。今後は、承継後の円滑な運営に向けて、可能な限りサポートしていきたい。地域医療の安定・充実化を目指して運営していきたいと考えているので、全国の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。



「健康経営優良法人2019」の認定について —徳島県医師会— 「健康経営優良法人認定制度」は、経済産業省が、地域の健康課題に即した取り組みや日医の横倉義武会長が実行委員として参画している「日本健康会議」が進める健康増進の取り組みを基に、特に優良な健康経営を

心強いとあいさつした。インドネシア共和国保健省のウスマン・スマントリ保健人材開発・活用庁長官は、「本事業により日本の医療のノウハウを学んだ人材を通じて、国内の人材育成につながりたい」と期待を込めた。外国人看護師の活躍を期待し、2025年に向けた看護職員の不足問題解決の一助となるよう、今後も事業を推進していきたい。

八つの宣言の中に「健保組合等保険者と連携して健康経営に取り組む企業を500社以上とする」という目標が掲げられている。さて、今回どうして「健康経営優良法人」に手を挙げたかであるが、きっかけは、日医から案内頂いた平成30年9月5日付(健II108)「健康経営優良法人2019」の申請受付について」



「この中で、「医療法人ならびに医師会の申請も可能となっておりますので、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。」との一文があり、齋藤義郎徳島県医師会長とも相談の上、会内委員会に諮り、トライすることになったものである。

「予防・健康づくり推進」は、人生100年時代を迎えるわが国において官民挙げて取り組んでいかなければならない大きな課題である。横倉会長もその重要性を常に強調されており、徳島県医師会も、誠に微力ながら、まずは率先して事業所としての取り組みを進めていくこととなった。

その具体的な手続きは、約20の評価項目の中から認定要件を満たすものを記載していくというもので、まず第一の必須項目が事業所での健康宣言の明文化である。これについては、協会けんぽ徳島支部の指導・協力を得ながら、平成30年10月15日付で「健康事業所宣言認定証」を頂くことができた。

また、就労とメンタルヘルス・病気の治療との両立に向けた取り組みでは、会館に同居している徳島産業保健総合支援センターと連携し、すぐに相談できる体制を整えている。

今回の申請は、事務局内の働き方や健康管理を見直す良い機会となった。その結果、平成31年2月21日付で「健康経営優良法人2019」の認定を頂き、非常に光栄に感じるとともに、ご案内を頂いた日医、ご協力頂いた協会けんぽ徳島支部に感謝申し上げ、これから健康で安心して働ける職場環境を整えていきたいと考えている。

「6歳の子ども、痙攣」という連絡が入った。救命センターに到着次第、2例目のランデブーポイントへ再出発していた。これまで聞いてパイロットはドクヘリに乗り込む。「72歳の男性、丸ノコで手を切断」これを聞いてパイロットドクターが乗り込み、ドクヘリ要請から3分後出動する。

東西の隣県を含め半径80キロメートルを守って80キロメートルを守っている。救命センターへの搬送中に、2人目の症例、「6歳の子ども、痙攣」という連絡が入った。救命センターに到着次第、2例目のランデブーポイントへ再出発していた。

「なぜこんなに頑張るのか」の質問にセンター長が、「断る（応需しない）ほうが労力がいる。」と答えている。2005年に死者600名以上を出したJR福知山線脱線事故で陣頭指揮を執った人物である。



ドクヘリ

日本医師・従業員国民年金基金 最後の理事会・代議員会を開催

～4月からは全国国民年金基金

日本医師・従業員支部としてスタート～



日本医師・従業員国民年金基金（横倉義武理事長・加入員数約6600人）の理事会・代議員会が2月21日に都内で開催された。

同国民年金基金は、平成3年に日医を母体として設立されたが、本年4月から全国68の国民年金基金と共に、「全国国民年金基金」に統合し、新たに「日本医師・従業員支部」へと移行することから、同基金としては、今回が最後の理事会・代議員会となった。

理事・代議員会には、横倉理事長、清水恵一朗副理事長、富岡悟常務理事、滝澤秀次郎理事、今村定臣監事、島田潔監事、全国から15名の代議員が出席した。

議事では、報告事項として、清水副理事長から基金加入員や掛金収納等の状況等について説明がなされ、4月の全国国民年金基金の日本医師・従業員支部移行後も、医師・従業員の方々の窓口として、日医や地区医師会の協力を得ながら加入員確保に努めて欲しい旨の要望があった。

また、富岡常務理事からは、基金の資産運用の状況等について報告がなされ、全国国民年金基金への移行に伴う連合会への基金資産の移管については順調に進捗している旨の説明があった。

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部案内

4月1日に全国69の国民年金基金(47都道府県の地域型国民年金基金と22の職能型国民年金基金)が、「全国国民年金基金」に統合された。日医を設立母体とする「日本医師・従業員国民年金基金」は全国国民年金基金の支部へと移行し、新たな「日本医師・従業員支部」としてスタートした。

日本医師・従業員支部のスタート

新支部は、医療従事者の豊かな老後保障を確保するため、相談や申し込み手続き、広報などを担う組織である。新支部の住所・電話番号等は変更せず、税制上のメリットも従来どおり、①掛け金は全額社会保険料控除の対象②年金は公的年金等控除の適用③遺族一時金は全額非課税—なので、未加入の方は加入を検討頂きたい。

「医師の働き方改革」は病院勤務医の働き方を中心に論議されているが、診療所医師の働き方も議論していかなくてはならない。全ての医師の健康が守られ、かつ地域医療提供体制の維持が両立されるために、

「31年度事業計画案」について概説がなされ、ダイレクトメールを年3回送付すること、「日医二ユー」など医師会広報紙に広告を掲載することなどが示された。また、「日本医師・従業員支部基本行動指針」の策定について説明があり、その中で、医療従事者の福祉向上・地域医療の発展への寄与を目指すこと、医療従事者の目線に立って懇切丁寧な対応をすること、日医等と緊密な連携を図っていくことなどが説明された。



お問い合わせは、支部事務局(☎0120-700650)まで。

平成30年度臨床検査精度管理調査報告会

臨床検査精度の更なる向上を目指して



平成30年度臨床検査精度管理調査報告会が3月8日、日医会館大講堂で開催された。

担当の江澤和彦常任理事の司会で開会。冒頭のあいさつで横倉義武会長（江澤常任理事代読）は、まず、今年度は昨年9月3日から4日にかけて近畿地方を中心に甚大な被害をもたらした台風21号や同月6日に発生した北海道胆振地方中東部地震等の自然災害により、調査の実施にさまざまな影響が出たことに触れ、「今後、本調査の参加施設にご迷惑が掛からないよう

おかげさまで

日本医師会 医師年金 50周年

医師年金は、日本医師会が運営する医師専用の私的年金です。

日医会員で満64歳6カ月未満の方が加入できます。申し込みは64歳3カ月までお願いします。

ホームページを参考に、加入をご検討下さい。

医師年金 検索 <http://nenkin.med.or.jp/>

ご加入時の受取年金額のシミュレーションが可能です
 <トップページ→シミュレーション>

年金専門誌「年金情報」で管理運用体制が高く評価されました
 <トップページ→お知らせ>

お問い合わせ・資料請求等
 日医年金・税制課 ☎ 03-3942-6487(直) (平日9時半～17時)

引き続き、3232施設が参加して行われた第52回臨床検査精度管理調査報告会に移り、(1)臨床化学一般検査①(三宅一徳)日医臨床検査精度管理検討委員会委員(2)臨床化学一般検査②(細菅茂実)同委員会委員(3)臨床化学一般検査③(菊池春人)同委員会委員(4)腫瘍マーカー(山田俊幸)同委員会委員(5)酵素検査(前川真人)同委員会副委員長(6)脂質検査(高木康)同委員会委員長(7)甲状腺マーカー(感染症マーカー・リウマトイド因子)(メ谷直人)同委員会委員(8)血液学的検査(小池由佳子)同委員会委員(9)測定装置利用の動向(金村茂)同委員会委員

同委員長は最後に、「日医臨床検査制度管理調査は大・中・基幹病院ばかりでなく、小規模病院の検査室、衛生検査所、メーカーなどが参加している日本最大規模の臨床検査精度管理調査であり、日本の臨床検査の現状を反映したものと言える」とした他、今後の課題として、

高木委員長は総括の中で、分類や数値の桁の誤記入や「製造販売元」と「販売元」を混同した回答等が見られたことに対し、「各検査室は、自施設の測定試薬のメーカー名、測定原理、基質、緩衝液、標準物質を知っておくべきである」と指摘。一方で、トレーサビリティ確認の実施率の高さや臨床化学一般項目、酵素項目のバラツキが小さかったこと等については、これを評価する考えを示した。

その後の総合討論では、検査値の評価の仕方や自然災害による検査結果への影響、試薬の品質等、参加者からの個別具体的な質問に対し、各委員が回答を行った。

最後に江澤常任理事が閉会の言葉を述べ、報告会は盛会裏に終了となった。参加者は661名。

南から北から

愛媛県
松山市医師会報
第323号より

YouTubeハジメ

石井真由美

私には小4の娘と小2の息子がいますが、毎日のようにパソコンに向かってYouTubeを見ています。一時期、大きくなったYouTubeになりたいと言っていました。期せずして息子の夢がかなえられました。

春休みに、職業体験を通じてお金の流れや街の仕組みなどを教えてくれるNPO法人のイベントに参加しました。息子が帰宅して「僕outuberになったよ。パソコンで見られるって」言ってくれたので、「早く準備して早く始めよう」と言いました。驚きながらも早速検索しました。しかし、視聴回数が少ないのでなかなか見つかりません。何とか男の子3人でYouTubeのテーマソングを歌ってみたという動画を見つけました。

真ん中に高学年と思いき背の高い男の子(少年A)がいて、向かって左側に息子より少し背の高い男の子(少年B)、そして右側に息子がいました。それぞれ自己紹介が始まりましたが、息子のニックネームは「ずひろ」。どうも意味が分

かりません。名前はひろとなのですが、ニックネームを自分でなかなか決められずにいたら、少年Aに「学校の授業で何か好き？」と聞かれ、「凶」と答えると「じゃあ、ずひろ」と決められてしまったそうです。

そして真ん中の少年Aが歌い出し、左の少年Bの動画を見て時々

目な生徒でした。初めて会ったのは、私の「感染免疫・微生物学」の講義でした。生徒は皆、既に准看の資格もっています。なので、馴染みやすい話から入っていろいろと、誰もがよく知っているブドウ球菌の話から講義を始めました。

福島県
福島県医師会報
第80巻第8号より

頑張れ！牛(ぎゅう)ちゃん

石橋 啓

ボーパの真似をしていたので、自信があったのかも知れません。せっかく投稿したのだからもっと目立てばいいのと思いましたが、何回か見ているうちにこのシニールさがたまらなくなり、いいYouTubeデビューになったかなと思いついた。息子は最後までまじまじとリズムに合わせて、曲が終わると胸に手を当てホッとされた様子でした。

職業体験でYouTubeがあるのかと驚きました。息子の夢がかなった一日でした。

(一部省略)

長年、看護学科でも鞭を執っており。そして、今でも忘れられない生徒がいます。7〜8年前のことだったと思います。彼女は、一番廊下側、前から3番目の席の、パーマのかかった茶髪のちょっと派手な生徒でした。初めて目な生徒でした。初めて会ったのは、私の「感染免疫・微生物学」の講義でした。生徒は皆、既に准看の資格もっています。なので、馴染みやすい話から入っていろいろと、誰もがよく知っているブドウ球菌の話から講義を始めました。

福島県
福島県医師会報
第80巻第8号より

ミルクを溶かすものは

菅原 久江

強』の話、すっごくよかった」と、言ってくれました。最も勉強とは縁遠いと思われた彼女から「あ、ありがと」なので、「あ、ありがと」軽く受け流してしまいました。それでも牛ちゃんは今も一度確認するかのようになり、「さっきの話、ほんとに感動したんですよ」と言いながら私を見つめる。彼女の黒く、大きい瞳は真剣で、社交辞令を言っているとは思えません。

時は流れ、国家試験が間近に迫ったある雪の日、担任に聞いてみました。「そういえば牛ちゃんはどうですか？ 国試とか大丈夫なんですか？」すると、予想外の答えが返ってきました。「牛ちゃんね、最近ぐっと伸びてきているんですよ。彼女は大丈夫なんじゃないかしら」

耳を疑いました。でも彼女は、国家試験に本当に合格したのです。「大逆転合格」誰かが言っていました。よく頑張った、私もそう思いました。全然勉強ができた彼女。歩み遅かったけど、少しずつ近づくと、最終的に目標を達成しました。

その年、牛ちゃんは某病院に正看護師として就職していきました。

しかし、これで終わりではありませんでした。一年後、またその担任が

「ミルクを溶かすものは」と思っ問診。「それが実は」と切り出したお母さんの説明によると、夏休みに夫の実家に遊びに来た。普段からミルク用の水を冷蔵庫に入れておく。普段のように帰省先まではいかなかったようです。ほろ酔い赤ちゃん、成長したら酒豪になるかも知れません。大事に至らなくてよかったです。

岩手県
奥州医師会月報
651号より

………

ミルクを溶かすものは

菅原 久江

あれ？と途中でやめた。口からアルコールの臭いがして。「ん」驚きです。どうしてそうなったのかという、お姑さんが気を遣ってミルクをつくってくれたのですが、運が悪いというのか、何となく、たまたま冷蔵庫には同じ棚に焼酎が入っており、2本が並んでいたそうです。ラベルは剥がしてしまったとか。

50〜100ミリリットル近く飲んだかも知れないとのこと。お母さんは慌ていたので、飲ませたミルクを持ってきていませんでした。

赤ちゃんはどうも、やや心拍が速めでしたが、診察時バイタルは安定、上機嫌です。急性アルコール中毒になりませんように、と祈りながら補液しつつ一晩経過観察入院することに。両親もお姑さんもしきりに心配していました。

さて、お子さんはどう、こちらの心配をよそに一晩中上機嫌、キョッキョと笑い声が病室内に響いていました。翌朝、担当医に引き継ぐ時にはもうすっかり落ち着き、酔いも覚めていました。血中アルコール濃度は上がっていましたが、酔いまではいかなかったようです。ほろ酔い赤ちゃん、成長したら酒豪になるかも知れません。大事に至らなくてよかったです。

「強」の話、すっごくよかった」と、言ってくれました。最も勉強とは縁遠いと思われた彼女から「あ、ありがと」なので、「あ、ありがと」軽く受け流してしまいました。それでも牛ちゃんは今も一度確認するかのようになり、「さっきの話、ほんとに感動したんですよ」と言いながら私を見つめる。彼女の黒く、大きい瞳は真剣で、社交辞令を言っているとは思えません。

時は流れ、国家試験が間近に迫ったある雪の日、担任に聞いてみました。「そういえば牛ちゃんはどうですか？ 国試とか大丈夫なんですか？」すると、予想外の答えが返ってきました。「牛ちゃんね、最近ぐっと伸びてきているんですよ。彼女は大丈夫なんじゃないかしら」

耳を疑いました。でも彼女は、国家試験に本当に合格したのです。「大逆転合格」誰かが言っていました。よく頑張った、私もそう思いました。全然勉強ができた彼女。歩み遅かったけど、少しずつ近づくと、最終的に目標を達成しました。

その年、牛ちゃんは某病院に正看護師として就職していきました。

しかし、これで終わりではありませんでした。一年後、またその担任が

書籍紹介



神経診察の極意

廣瀬源二郎 著



長年の経験から得られた
手技を余すことなく平易
に伝える内容となっている。

本文内には要所でさま
ざまなコーナーが散りば
められている。「極意」
コーナーでは、著者なら
ではの手技や考え方に触
れることができ、「Point」
コーナーでは、解剖学的
な知識と神経学的な知識
との相関を理解できる。
加えて、「一口メモ」
コーナーでは、著者の豊
富な知識に驚嘆させられ
るなど、どの部分をとり
ても極意と呼ぶにふさわ
しい内容になっており、
これから臨床神経学を学
ぶ医師に向け、著者の

ぶ医師だけでなく、もう
一度学び直したい医師に
もお薦めしたい。

定価 2916円(税込)
発行 南山堂

動脈硬化御三家 高血圧・糖尿病・ 脂質異常症をまる ごと制覇!

南郷栄秀 編



動脈硬化は、高血圧、
糖尿病、脂質異常症によ
って進行する病であり、
実際の診療においては、
例えば、糖尿病患者の場
合、血糖値だけに着目し
て診療するのでは不十分
と云える。
高血圧症も脂質異常症
も同様で、血圧ばかり、
コレステロールばかり診
ているのではなく、動脈
硬化に関連する疾患や危
険因子を全て同時並行に
包括的に考えていかなけ
ればならない。
また、その際には患者
の仕事や生活なども含め
た個別の事情を考慮した
最適なマネジメントを行
う必要がある。
そういった意味で、高
血圧、糖尿病、脂質異常
症のスクリーニングから
リスク評価、治療目標設
定、患者指導、専門医と
の連携までが、豊富なエ
ビデンスに基づいて分か
りやすく網羅されている

本書は大変便利な一冊と
言える。
定価 5184円(税込)
発行 羊土社

なかなか治らない めまいが治る めまいは耳からとは 限らない!

中山杜人 著



「めまいは耳からとは限らない!」
めまいは耳からとは限らない!
中山杜人 著
さの舎

読んで、そうとは限らな
いという考え方に修正し
ていただければ幸いです
と書いているが、ま
さにそのことを実感でき
る一冊となっている。
定価 1512円(税込)
発行 さの舎

他科医から訊かれ るこの皮膚病はな に?

宮地良樹 編



本書は、皮膚科診療に
携わる全ての臨床医が日
常的に遭遇する皮膚疾患
を、「一発診断できる皮
膚腫瘍」「どうも典型例
ではないみたい」「知っ
ておくと鼻高々」の三つ
に分類した上で、写真を
中心に簡潔かつ実践的な
治療法を紹介した解説書
である。
写真が多く掲載されて
いるため読みやすいだけ
でなく、「よく見るけどこ
れは何という皮膚病なの
?」「どこに目をつけ
ればいいの?」「いつも
診ている典型例と何か違
って紛らわしいけど、別
の皮膚病なの?」といっ
た非専門医が日頃疑問に
思ふ事柄についても、明
確な答えが示されている。
また、第3章「知って
おくと鼻高々」知ってい
そうで知らない皮膚病」
では、専門医でもすぐに
病名が出てこないけれど
も、患者さんからは「こ
れ何という皮膚病です
か?」としばしば訊かれ
るような皮膚病が厳選さ
れて触れられており、使
いやすい。

定価 10800円(税
込)
発行 メディカルレビュー
社

日医医学図書館 利用案内

医学図書館は、日医ホームページ(<http://www.med.or.jp>)の会員専用コーナー(メンバーズルーム)を通じて、ご自宅や勤務先などからご利用頂くことができます。

1. 各サービスのお申し込み

メンバーズルームの画面から、複写、調査、貸出を申し込むことができます。複写物や調査の結果は郵便で、貸出する本は宅急便でお届けします。国内や海外の図書館からも複写をお取り寄せできます。受付から3~7日程度で発送します。お急ぎの場合はご相談下さい。

【料金】

コピー B5@10円 A4・B4@20円 A3@40円 +送料
*カラーコピー B5・A4・B4@50円 A3@80円

他の図書館から取り寄せた場合は、実費料金+依頼料+送料

2. 所蔵資料検索

雑誌、本、統計・白書などの所蔵状況を検索できます。所蔵していない資料は、他の図書館から複写などをお取り寄せできます。

3. 新着資料の案内

毎月、到着した国内雑誌の特集テーマや国内外の書籍をご案内しています。

郵便、FAXによるお申し込みも承っています。

詳しくは、日医医学図書館(〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 TEL03-3942-6492(直) FAX03-3942-6495 mail:jmalib@po.med.or.jp)まで。

内容は、全6章で構成されており、著者は、「はじめに」の中で、「めまい」と言えば耳、三半規管という考え方をこの本を

「いい医療の日」 ロゴマーク募集!

締切
2019.
6/28(金)

日医では、より良い医療のあり方について国民と医師とが共に考えることで、更なる国民医療の向上に寄与していくことを目的として、日医の設立記念日である11月1日を、「いい医療の日」として制定しています。

このたび、会員に限らず広く一般の方々(プロ・アマ不問)を対象に、この「いい医療の日」のロゴマークを募集することになりました。奮って、ご応募願います。

詳しくは、日医ホームページ(<http://www.med.or.jp/people/008388.html>)をご覧ください。

応募・
問い合わせ先

日医広報課
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
☎03-3942-6483(直)

